

MMC 卒後臨床研修センター  
MMC通信  
発行日 平成20年7月15日(第36号)



**トピックス**  
MMC 理事会・総会 開催報告  
いよいよマッチング!!  
後期レジナビフェアに参加

**情報コーナー**  
☆指導医養成講習会について  
☆メディカルサマースクール

ちょっと太り気味ドクターの  
～スタンフォード旅行記～  
第9回～Lane Medical Library & Chris～

## MMC理事会・総会 開催報告



6月2日(月)三重大学医学部大会議室にて、「第10回NPO法人MMC卒後臨床研修センター理事会ならびに年次総会」を開催いたしました。内田理事長を議長として平成19年度の活動報告や決算報告、平成20年度の活動計画や予算などが議案として提出されました。また、設立して1年半となる「みえ医師バンク」についてもこれまでの契約状況が報告されました。

提出されたすべての議案について異議もなく承認されましたが、会の後半ではMMCの資金運営について理事の先生方から様々な意見が出されました。MMCがNPO法人として認可されてから間もなく丸4年を迎えようとしています。設立当初よりも会員数は倍近くまで増加し、取り巻く環境や期待されている役割も変化しつつあります。医師バンクについてはまだまだ手探り状態の部分が多いですが、今回理事や会員の皆様から戴いたご意見を真摯に受け止め、今後の活動内容を吟味していきたいと考えています。

## いよいよマッチング!!

今年度もいよいよマッチングのシーズンを迎え、6月5日からは参加者・病院とも参加登録の受付が開始されました。参加される未来の研修医の皆さんは勿論のこと、現役の先生方や病院にとっても、来年度を占う緊張の瞬間が近づいていると言えるのではないのでしょうか。

MMCでは例年通り8月24日(日)に三重大学にて合同面接会を開催いたします。面接会までの流れとしては、受験者が各研修病院に受験を申し込み、MMCにて全体を取りまとめた後、受験時間を調整し個別に試験案内と受験票を発送いたします。受験予定の方は各病院の既定の応募要項にしたがって、お早めにお申し込み下さい。

～参考～今年度マッチング日程	
参加登録開始(参加者・病院)	6月5日
参加登録締切(参・病)	7月24日
MMC合同試験会	8月24日
希望順位登録受付開始(参・病)	8月28日
希望順位登録中間公表前締切(参)	9月11日
中間公表(参・病)	9月12日
希望順位登録最終締切(参・病)	10月2日
組み合わせ結果決定(参・病)	10月16日

## 後期レジナビフェアに参加

6月1日(日)東京ビッグサイトにて研修の先生方を対象とした「後期研修合同セミナー」が開催され、三重県病院群として三重県健康福祉部が出席し、MMCからも担当者が参加しました。当日の全参加者数は461名(昨年比約30名増)で、参加病院・グループ数は121施設(同9施設増)でした。全参加者に占める東海地方からの参加割合が6%しかなく三重県ブース来訪者は5名(昨年比7名減)と苦戦をいたしました。逆にそれぞれのニーズに合った病院の紹介や三重県の特徴をじっくり話すことができ、有意義な説明会となりました。

過去の参加者アンケートの結果を見ると、後期研修先を考える場合に一番参考にするのが各病院HP、次いで先輩・友人の意見、その次が合同説明会となっています。様々な情報があふれる社会で自分に合った情報を手に入れるのは難しいですが、少しでも三重県の研修に興味を持っていたり求人する側も常にアンテナを伸ばしておきたいと感じています。



## 情報コーナー

**☆指導医養成講習会について**  
平成21年2月に開催予定の「第7回MMC指導医養成講習会」のお申し込みは6月30日をもって締切いたしました。たくさんのご応募をいただきありがとうございます。

**☆メディカルサマースクール**  
〈日時〉  
平成20年8月9日(土)10:00～  
〈会場〉  
合歓の郷 エクシード  
(三重県志摩市、伊勢志摩国立公園内)  
〈主催〉  
三重県立志摩病院、志摩医師会、  
三重県健康福祉部  
昨年開催して好評だった「メディカルサマースクール」を今年も開催いたします。この催しは鳥羽・志摩地域の中高生を対象に、医療関係者や医学生・看護学生との交流を通じて若い人たちに医療の世界を目指してもらいきっかけを作る会です。現在医療界にいらっしゃる先生方にとっても若者の視点が良い刺激になるかもしれません。お申し込み・お問い合わせは三重県立志摩病院地域連携室(Tel 0599-43-6171)まで。

## ちょっと太り気味ドクターの～スタンフォード旅行記～

スタンフォード大学医学部の雰囲気の色を代表するなら、空の青、芝生の緑、建物のベージュ。そしてそれらが絶妙にからみあうように、校舎と校舎の間の方形のスペースは、きれいに整備された庭や花壇となっており、その一つには「同窓の庭」(alumni garden)と書かれたプレートが飾られていた。そして、その庭を取り囲む一辺に Lane Medical Library があった。もちろんスタンフォード大にはメインキャンパスの方に大きな図書館がいくつもあり、いわば医学部図書館といったところか? その司書をしている Christopher Steave を紹介された。すぐに「Call me Chris!」と自己紹介され、とても笑顔の素敵な Nice Guy であった。スタンフォードで出会った素晴らしい人はときかれば、間違いなく Chris を挙げるであろう。もう一人は、Jasmine である。(分からない方はバックナンバー・・・第2回辺りか?…を参照!) 自分で言うのもなんだが、初めて英語でコミュニケーションが満足にとれたのは、この Chris が初めてだったかもしれない。リエゾンが多く、早口の聞き取れない英語を話す人が多い中で(当たり前である)、日本で聞いていた英語教材と同じような、早さ、発音で僕を案内してくれた。

この Lane Medical Library の自慢は二つ。一つは、ありとあらゆる雑誌、教科書などを一元化したオリジナルのデータベース。二つめは、それに伴って紙媒体の本はほとんどなくなり、空っぽになった本棚の列、列、列。これはこれで結構迫力があるものである。このシステムの開発の中心となったのが、今回一番お世話していただいた Skeff 教授である。ある検索語を入力すると、それに関連する論文はもちろん、教科書の記事、表などがヒットする。もちろん、そこからワンクリックでリンクへ飛び、ほとんどの記事が PDF ファイルでダウンロードすることができる。そしてこのシステムは現役の学生や教員だけでなく、いわゆる Alumni 全員が使用することができるようになっている。つまり全米、いや全世界どこへ行っても、自らの生涯学習やキャリアアップに活かすことができる仕組みになっているのだ。日本では慶応大学が Stanford と提携し、このシステムを使用できるようになっているそうである。「Mie University でどうですか?」と訊かれたが、「僕はそんな権限がないので…」と言うのがやっとであった。僕も滞在中だけで良いから、IDを発行して使わせてもらえないか? とお願いしたが、やんわりお断りされてしまった。思えば厚かましい話であった。

(URL: <http://lane.stanford.edu>)

発行元 NPO法人MMC卒後臨床研修センター【担当/若松】  
514-8507 三重県津市江戸橋2-174三重大病院西棟10F  
Tel 059-231-5429 FAX 059-231-5440  
URL <http://www.mmc-center.com> E-mail [tsushin@mmc-center.com](mailto:tsushin@mmc-center.com)